



吉田地区 住民自治協議会だより

48号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

2023 吉田ふるさと夏まつり 7月22日(土)

第48回 吉田びんずる

第16回 何丸踊り

4年ぶりに開催!

吉田の町に華やかなお祭りが戻ってきました。7月22日から23日にかけて、吉田ふるさと夏まつりが4年ぶりに開催されました。吉田ふるさと夏まつりは、住民自治協議会と商工振興会が協力して実行委員会を立ち上げ、その実行委員会の主催で行われます。公民館委員会は初日の「吉田びんずる・何丸踊り」の運営を担当し、育成会委員会はたつみまつりから形を変えた2日目の「わいわいドームまつり・こども広場」の運営を商工振興会と共同で担当しました。

吉田びんずる・何丸踊りは、町連・企業連・東部中学校連あわせて18連が参加して、賑やかに行われ、わいわいドームまつりには多くの子どもたちや町民の皆さんが集まってくれました。

3年間の空白があり、運営に携わったことのある役員が少ない中、多くの皆さんのご協力により、夏まつりが開催できたこと、とても感謝しております。来年以降もずっとこのイベントを続けていきたいと思っています。関係いただいたすべての皆さん、ありがとうございました。



育成会委員会

6月25日(日) 吉田こどもフェスタ2023 吉田小学校体育館



人形劇「さんびきのこぶた」

6月25日(日)「吉田こどもフェスタ2023」が吉田小学校体育館で行われました。新型コロナウイルスの影響で休止しているスポーツ大会にかわりこどもが楽しめる催し物を企画しました。暑い日となりましたが、子どもも保護者の方約100名が参加しました。

人形劇、腹話術は、人形芝居燕屋による上演。

また、長野市役所危機管理防災課の方々による防災講座を行いました。

人形劇、腹話術では、子どもたちから楽しい笑い声は何度も起こっていました。

防災講座では、「段ボールベット作成」「簡易トイレ作成」「非常食観覧」の3つのブースに分かれて、市役所の方のお話を聞いたり、実際に自分たちで組み立てたり、体験しました。今回学んだ知識を今後に生かしてほしいと思います。



段ボールベット作成



簡易トイレ



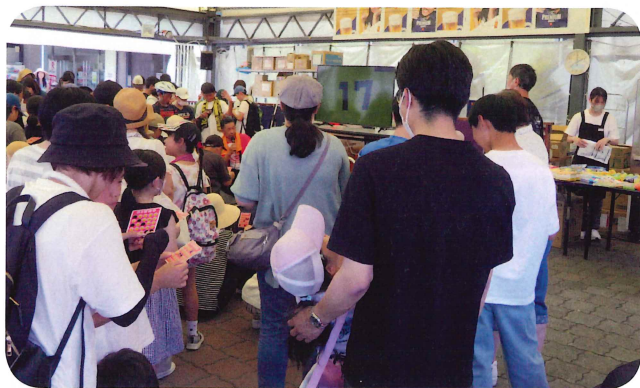
非常食



腹話術「ハローカンクロー」

7月23日(日) 2023 吉田ふるさと夏まつり 東急ライブわいわいドーム

— わいわいドームまつり こども広場 —



ビンゴ大会



良いお天気に恵まれ、大勢の方に参加して頂き、どのブースも大盛況でした。「わたあめ」「ポップコーン」「ゲームコーナー」と子どもたちで賑わっていました。

ビンゴ大会も100名以上の方が参加しました。たくさんの方に来て頂き、楽しい時間を過ごす事ができました。



福祉委員会



福祉委員会では、令和5年度男性の地域デビュー講座として、第1回を6月27日に長野市危機管理防災課 駒村係長を講師にお迎えして講座を開催しました。

講座では、「地域防災について学ぶ」をテーマに、近年の各地での多大なる災害、被災状況を確認し、吉田地区の災害対応の観点からのお話を伺い、防災減災について考える良い機会となりました。



普段なかなか手に取ることのない「ハザードマップ」の見方や、事前の避難準備計画を考え、具体的な避難に至るまでの流れをまとめた「タイムライン」の作成例等も、講演いただきました。

講師からは、避難について、100回逃げて100回来(被災し)なくとも、1001回目も、必ず逃げてください。避難は「空振り」ではなく、「素振り」であると捉えて欲しいと講演をまとめていただきました。

第2回は、「中高年・シニアの健康的な過ごし方について」をテーマにして、7月11日に、長野市包括支援センター 吉田の宮崎係長による講座を開催



しました。高齢化社会と言われ、健康寿命という言葉も耳にする時代になりましたが、介護サービス利用の対象となる前から、元気で明るく吉田の町で過ごし続けられるためのヒントをいただけました。

参加者人数は少なかったのですが、1年前の自分の健康状態と現在を比較して、健康と考えるかという問いかけから始まり、在宅生活が多くなり「社会とのつながり」が薄くなっ



ていくことでころ、口、栄養へと影響が出て、からだにまで変調をきたすフレイル(虚弱)状態の、ドミノ倒しになってしまつとまさに講座等の機会に参加する状況を作ることも大切と学べました(まずはご近所での会話を重ねることも意義あると)。

「健康観」や「興味関心チェック」についても対話形式で丁寧に講師との直接的なやり取りができ、講座参加の背景などを含め緊張感少なくゆったりとした講座になりました。気持ちほぐれたところで車座になり、「毎日のびのび」運動の体操で身体の凝りをほぐすこともできました。

保健委員会



6月7日(水)令和5年度第1回目の運動講習会が、ノルテながの多目的ホールで開催されました。今年度も清水由佳先生の楽しい御指導で、タオルを使つてのストレッチ・ピンポン玉を使った玉入れゲーム等、わきあいあいと皆さんの笑い声がホールに響きました。コロナ以前は時には50名を超える人気でしたが、まだまだ余裕があります。申し込みが必要ですが、ボールを使つたり、ヨガや筋力トレーニング、脳トレ体操など、楽しく運動して健康寿命を延ばしましょう。



7月12日(水)第2回運動講習会「ボールを使って健康体操」が開催されました。まずは、椅子に座つてストレッチ体操。続いて4、5人のグループになりボールを使つてさまざまな運動をやりました。足踏みをしたままで、5文字以上の言葉を言つたりとりをしたり、100から7を引いていたり条件(課題)をこなしながらボールを回します。「論より証拠」と格言

最後は、ラダー(はしご)を使つて、初めは軽快にステップを踏みながら次第に条件が付いて右手で3拍子、左手で指を1、2、3と出す等、脳も身体もフル回転しました。今後も皆様のご参加をお待ちしています。



- 今後の予定
- 9月13日(水) 「やさしい筋力トレーニング」 大教室
- 10月11日(水) 「ヨガでリラックス」 多目的ホール
- 11月8日(水) 「タオルを使つてストレッチ」 大教室
- 1月10日(水) 「ボールを使つて健康体操」 大教室

公民館委員会

吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会



6月4日、吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会を、県営球場と運動公園体育館を会場にして開催しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、令和元年の開催を最後に、開催中止としてきましたので、実に4年ぶりの開催となりました。

この大会は、例年町別対抗で行われています。今年の参加チームは、野球が6チーム、ソフトバレーボールが5チームと、4年前よりは減りました。これもコロナ禍の弊害だと思えます。来年以降、参加チームが増えていくことを期待します。熱戦の結果は次の通りです。

野球

1位 中越、2位 原町、3位 東町・押鐘

ソフトバレーボール

1位 中越、2位 東町、広町・桐原

選手の皆さん、お疲れ様でした。審判・役員の方皆さん、ありがとうございました。



お知らせ

10月1日(日)

第97回吉田町町民大運動会

吉田小学校校庭

10月14日(土)

福祉・健康フェスタ

ノルテながの多目的ホール

10月15日(日)

第36回吉田町

青少年健全育成住民の集い

ノルテながの多目的ホール

11月10日(金)

第23回人権を認め合う住民の集い

吉田小学校

11月12日(日)

第37回吉田町文化祭

吉田公民館

編集後記

コロナ感染症が5類に移行されたことで、各委員会での事業が再開され、6月には「吉田子どもフェスタ」等また7月には4年ぶりに「吉田ふるさと夏まつり」が実施され吉田町も徐々に活気が戻ってきた感じがします。第48号は各事業について掲載しました。今後は10月には吉田町大運動会が計画されています。未だコロナ感染症が収束した訳ではないので、十分な対策検討を行い多くの町民が安心して参加出来るようにしたいものです。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言います。体調管理には十分注意して快適な実りの秋を迎えましょう。

(編集委員会一同)